



慢性関節リウマチの 弁証論治

黄懷龍



当資料の転載、複製、改変等は禁止いたします。

一、概 論

(一) 定 義：

慢性関節リウマチは、全身性結合組織疾患の一つで、多発性関節炎を主な症状とする疾患である。

中医学では、RAを「痺症」、「頑痺」、「歴節風」、「痛風」などと称する。

(二) 発症機序

IL-
1, IL-
6, TN
F- α
などサ
イトカ
イン

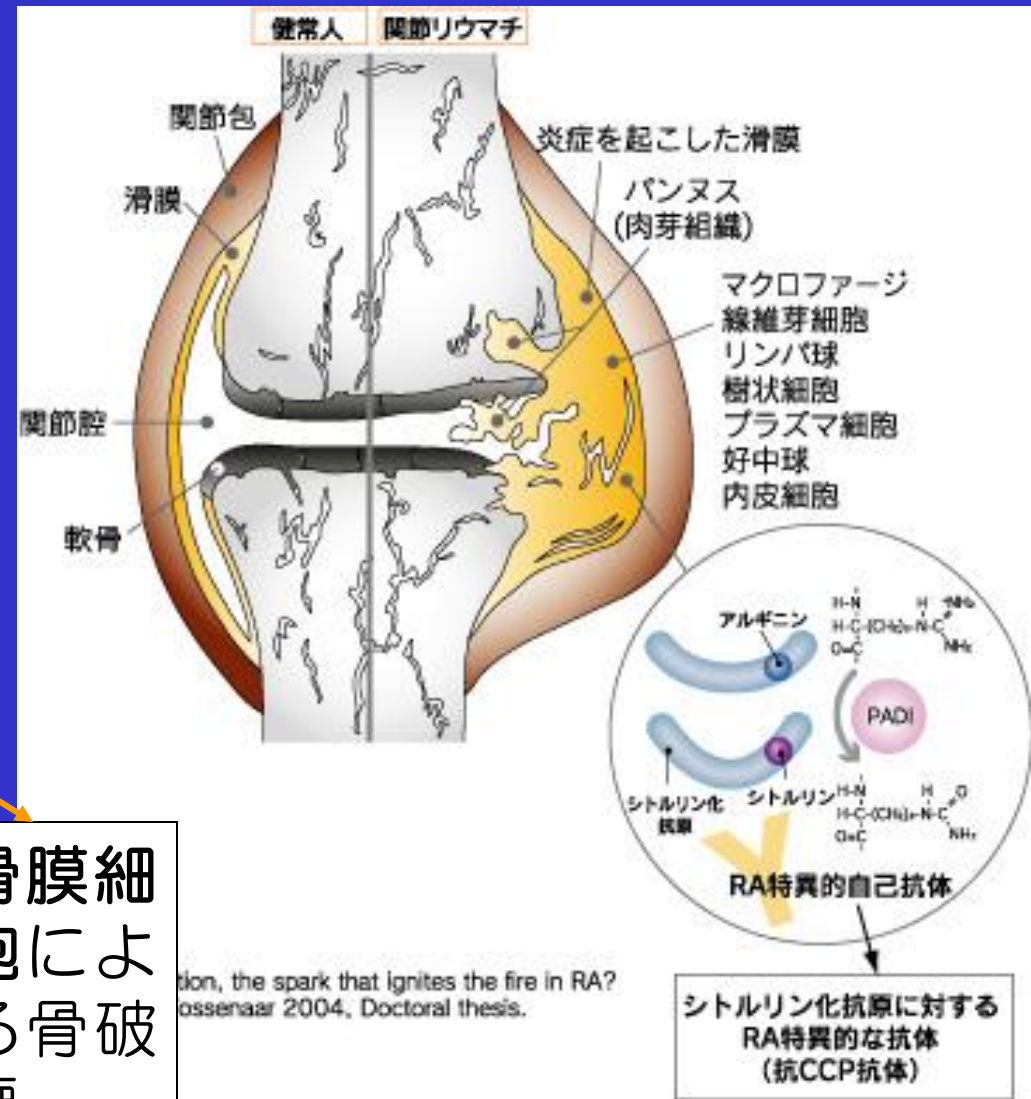
自己免疫反応
による滑膜炎症

集積した免疫細胞が活性化

破骨細胞による骨破壊

軟骨細胞による軟骨破壊。

滑膜細胞による骨破壊



(三) 臨床症状

1、関節炎：

多発性、対称性で、朝のこわばり、疼痛、発赤、腫脹（近位指節関節の紡錘形）が現れる。進行すれば、関節変形、骨破壊へと移行する、筋肉の萎縮も見られる。

2、関節外症状：

皮下結節（リウマトイド結節）で、その外、血管炎、漿膜炎、間質性肺炎などがある。

全身症状では、活動期には、全身倦怠感、易疲労感、微熱、体重減少、貧血などがあります。

- **朝のこわばり**: 関節とその周囲のこわばりが少なくとも1時間以上続く
- **3か所以上の関節炎**: 少なくとも3か所の関節で同時に軟部組織の腫脹(骨の過形成のみであってはならない)または関節液貯留が医師によって確認される
- **手関節炎**: 手関節、第2または第3関節の少なくとも1か所に腫脹が確認される
- **対称性関節炎**: 身体の左右の同じ関節部位が同時に罹患している
- **リウマトイド結節**: 骨突起部、伸展筋表面、または傍関節部位に皮下結節が医師によって確認されたもの
- **血清リウマトイド因子**: 血清リウマトイド因子が異常高値を示す
- **X線異常所見**: 手指または手関節の前後撮影によるX線写真上で関節リウマチの典型的な所見が認められること

二、病因病機

（一）病 因

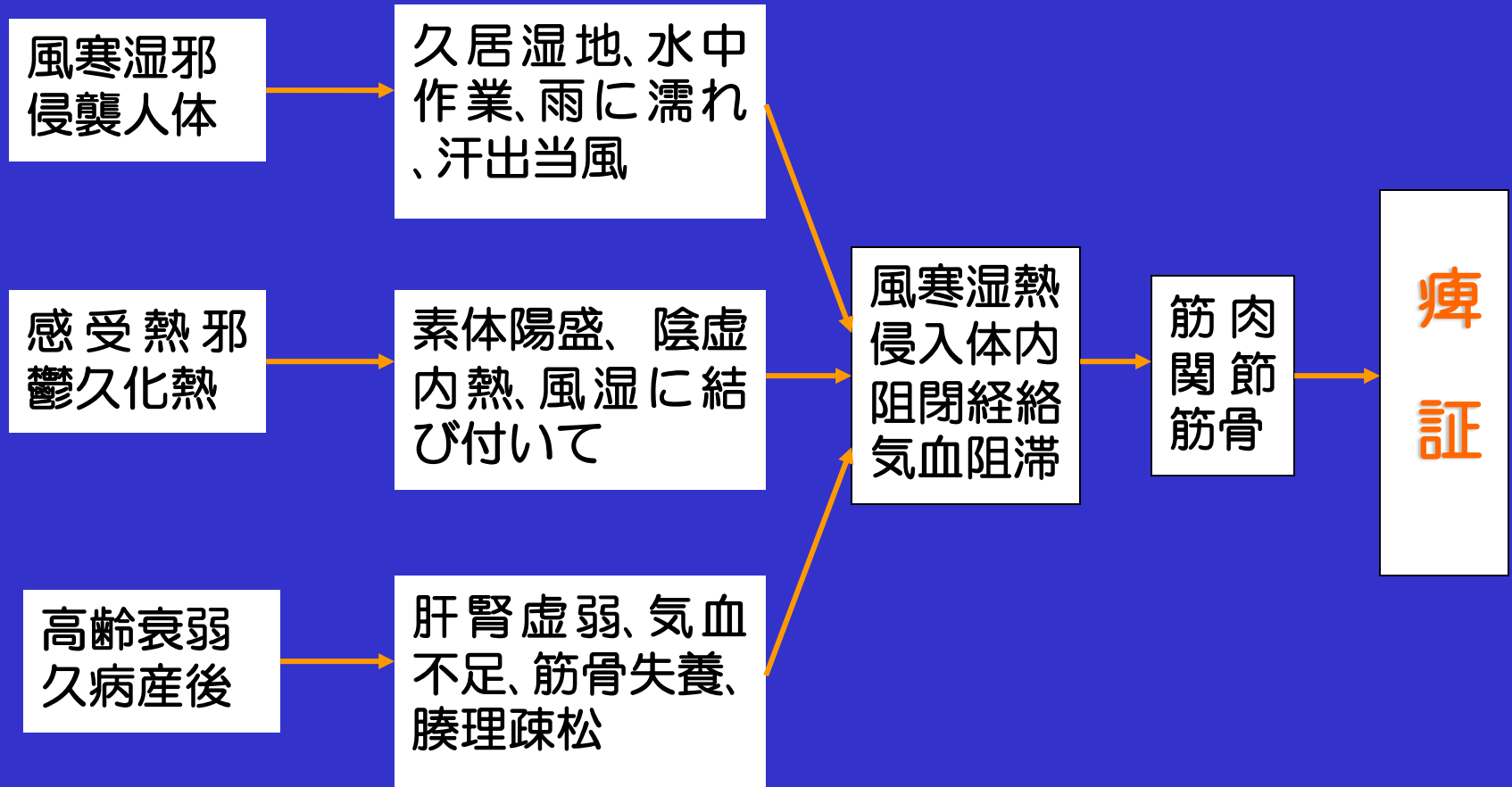
素体虚弱、正氣不足、腠理疎松、衛外不固などは痺症を引き起こす。

外因：気候環境の変化、起居不慎などより風寒湿熱邪の侵入。

内因：素体衰弱、高齢過労、病後産後などより、正氣不足、腠理疎松。

内舎
肝腎 → 肝腎両虚、筋脈拘縮、関節強直、腫脹畸形

痺証の病因病機



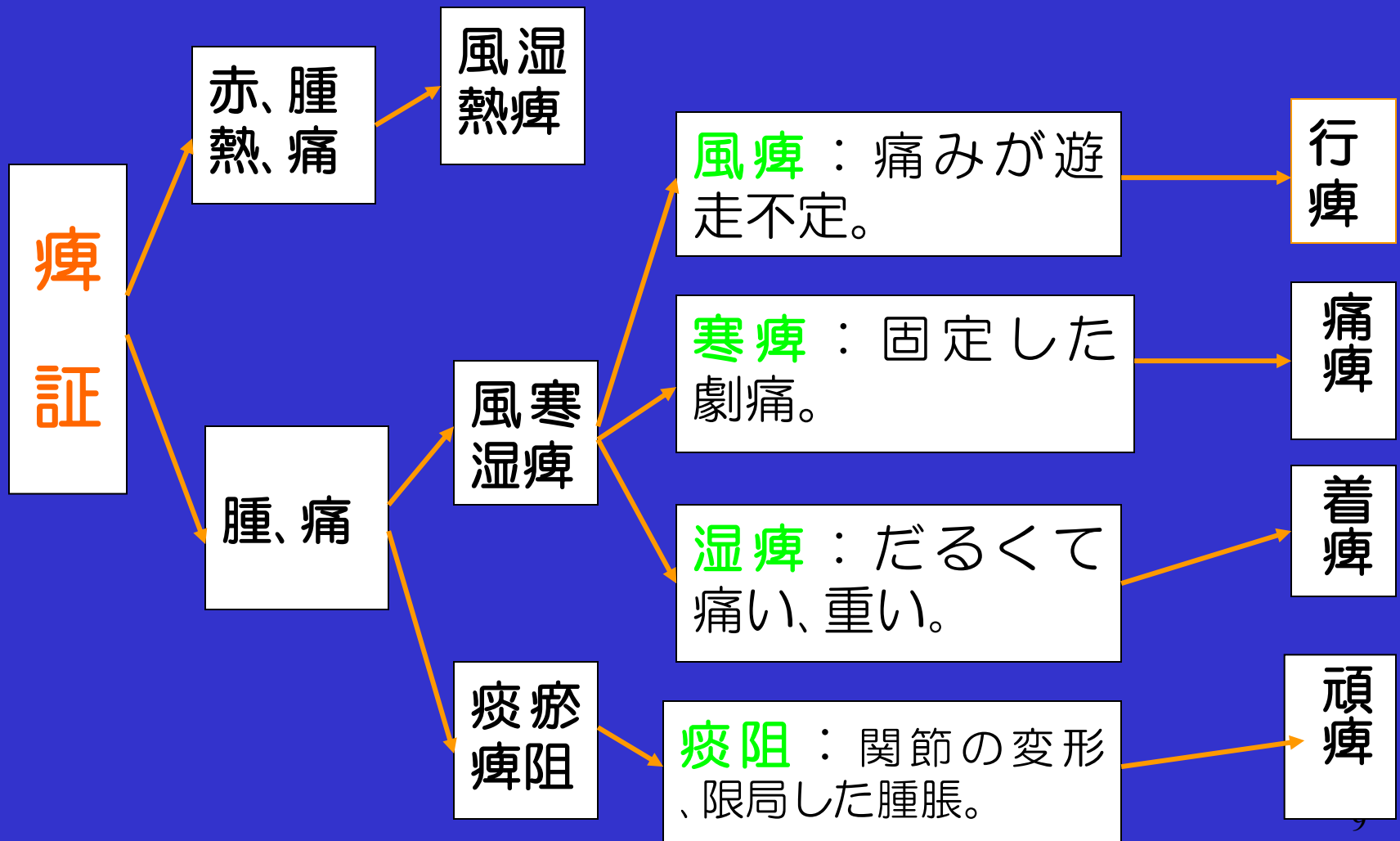
四、弁証論治

1、類証鑑別：

痺証と痿証の弁別

	痺 証	痿 証
疼 痛	関節、筋肉疼痛	疼痛なし
肢体運動障害	痛くて運動が制限される。	力が入らなくて運動が障害される。
筋肉萎縮	長期間の運動制限による廃用性萎縮。	初発症状とする筋萎縮。

2、弁証のポイント



3、臨床証型

(一) 風寒湿痺

1、行 痺

[症状] 肢体關節疼痛、遊走不定、關節屈伸不利、
或いは悪寒発熱、苔薄白、脈浮。

[治法] 祛風通絡、散寒除湿。

[方藥] 防風湯加減。

(防風、麻黄、当帰、秦艽、肉桂、葛根、茯苓、
生姜、大棗、甘草)

[加 減]

上肢関節痛：羌活、白芷、威靈仙、姜黄、川芎などを加えて祛風通絡止痛する。

下肢関節痛：独活、牛膝、防己、萆薢などを加えて通經活絡、祛湿止痛する。

腰背脊柱痛：杜仲、桑寄生、淫羊藿、巴戟天、續断などを加えて補腎気強腰膝する。

関節腫脹痛：防己、萆薢、木通、薏苡仁を加える。

風湿熱痺痛：忍冬藤、桑枝、豨薟草、絡石藤、海桐皮を加えて清熱化湿祛風止痛。

2. 痛 痺

[症状] 肢体関節の疼痛は激しく、固定痛を呈し、温めると痛が減り、寒さにあたると痛が増す、関節を屈伸することができない、局部の皮膚の色は赤くない、触れても熱くない、苔薄白、脈弦緊。

[治法] 温経散寒、祛風除湿

[方薬] 烏頭湯加減
(烏頭、麻黄、芍薬、甘草、黄耆)

[加減] 行痺を参照する

3. 着 痺

〔症状〕 肢体関節が重着、痠痛或いは腫脹し、疼痛は固定する。手足沈重、活動不便、肌膚麻木不仁、苔白膩、脈濡緩。

〔治法〕 除湿通絡、祛風散寒。

〔方薬〕 薏苡仁湯加減。

（薏苡仁、蒼朮、麻黄、肉桂、当帰、芍薬、炙甘草、生姜）

〔加減〕 行痺を参照する

(二) 風湿熱痺

[症状] 関節腫れ、発赤灼熱痛む、冷やすと楽になり、触れないほど痛み。多くは発熱多汗、悪風、口渴、煩悶不安などの全身症状を伴う。舌質偏紅、舌苔薄黄或は黄膩、脈滑数。

[治法] 清熱通絡、祛風除湿。

[方藥] 白虎加桂枝湯加減。

(桂枝、石膏、知母、粳米、甘草)

[加減] 皮膚に赤い斑点が見られる場合は、牡丹皮、生地、地膚子、赤芍薬などを加え涼血散風する。

(三) 痰湿瘀痺

[症状] 久病化痰、痰瘀阻絡、氣滯血瘀、筋脈拘縮、關節疼痛、昼間が軽い、夜に酷く、耐えられない、疼痛関節が強直、変形或は指関節が紡錘状を呈し、運動障害、舌質紫暗舌苔膩、苔白膩、脈細澁など。

[治法] 搜風通絡、祛痰化瘀、養血柔肝

[方薬] 桃紅飲「類症治裁」

(桃仁、紅花、川芎、当帰尾、威靈仙、麝香)

[加減] 胆南星、白僵蚕黄、耆、当帰、芍薬などを加える。

(四) 肝腎気血虚弱

[症状] 病が筋骨に至る、関節変形、畸形、運動効能障害、疼痛が酷くなり、生活不自由になった、痩せて衰弱し、眩暈、腰背骨がだるく、食欲不振、舌質淡或は偏紅、舌苔は膩、脈は沈細。

[治法] 滋養肝腎、補益気血、強壮筋骨

[方薬] 独活寄生湯加減

[加減] 続断、白花蛇、庶虫を加える。腎陽虚があれば鹿角膠、仙霊脾を加える。腎陰虚なら、枸杞子、鼈甲、天麦門冬などを加える。

六、エキス剤の応用

1、活動性の高い時期

桂枝加朮附湯、疎経活血湯、五積散、芍薬甘草湯、通導散、芍薬甘草附子湯、当帰芍薬散加附子、桂枝加苓朮附湯。

2、関節の熱感、発赤を伴う場合

越脾加朮湯、芍薬甘草湯、桂枝茯苓丸

3、関節の腫脹、関節液の貯留を伴う場合

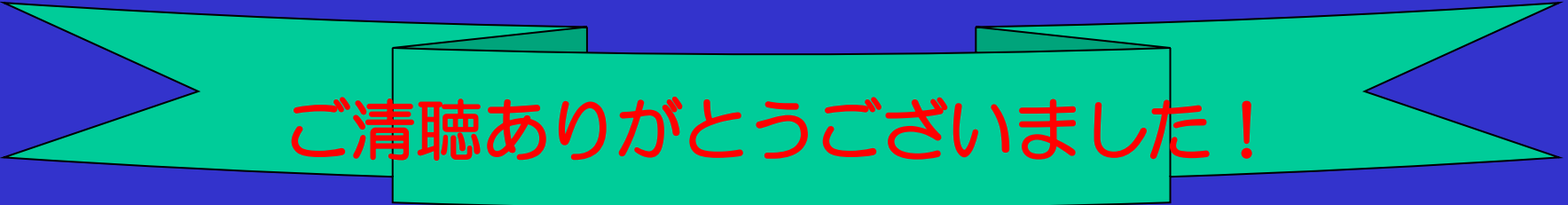
防己黄耆湯、意苡仁湯、麻杏薏甘湯、真武湯

4、手足の冷えやレイノー現象を伴う場合

当帰四逆加呉茱萸生姜湯、五積散、葛根加朮附湯

5、慢性、衰弱性時期

大防風湯、十全大補湯、牛車腎気丸、八味地黄丸⁷



ご清聴ありがとうございました！